



地域を育み、
大陸をつなぐ
国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

Rotary International

週報



国際ロータリー第2750地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

— 親睦と奉仕活動の原点を大切にするロータリアン —

2010~2011年度 会長 大平 恵吾

Vol45 No.40 平成 23年 5月 24日

第2183回 例会 報告 — 5月24日 —

本日の司会

川畑 SAA 副委員長

第2183回例会

点 全 員 協 議 会 鐘
委 員 会 報 告
幹 事 報 告
会 長 の 時 間
ニ コ ニ コ ボ ッ ク ス
お 客 様 紹 介
ロ タ リ ー ン グ
点



ロータリーソング

『我等の生業』

会員表彰

近藤 会員



○お礼の挨拶 近藤 会員

只今、大変名誉ある表彰状を頂きありがとうございました。私がRCに入ったのは37年前でしたが、当時は先輩方から最初にロータリーとは何ぞやという教育を受けました。それ



は、RCと云うのは地域社会における各業界の代表的な人の集りであるから品位、名誉を保たなければならない。旅行の時でも背広にネクタイ、黒い靴で来なければならないと云うことでした。40半ばの忙しかった時でも出席することを厳しく言われました。そのことを肝に銘じて、忙しい中でもメーキャップを一生懸命しました。5年目くらいの時に幹事の役目が回って来ましたが、まだ経験が浅くて、幹事はどうすればいいのかと云うことで、あちこち勉強に回ってみました。最初に行ったのは、日本で最初に出来た東京クラブで帝国ホテルでの例会で、昼食代が5,000円位、取られましたけれども周りを見たらテレビで見るとような偉い人ばかりでびっくりしました。

それから自分の郷里の鳥取県の倉吉RCに行きましたら、ここは20世紀の梨の産地で、かなりの人が梨を作っており、作業の途中でジャンパーを着たまま駆けつけて来ていました、ここではそれでもいいと言う話でした。30年くらい前の話ですが、田無RCでは、毎回、パンか蕎麦かカレーライスでメーキャップ代は500円位で、例会では粗食でいいのだということでした。香港、台湾、ヨーロッパなどあちこちにメーキャップに行ってみました。これも国によってかなりカラーが違うのも面白いと思えました。こんなことで、いろいろ勉強になりました。37年間皆さんの友情とご支援のお陰で皆勤を保って来ました。これからも健康である限りは継続して皆勤を続けて行きたいと思えます。

ニコニコボックス

照木 親睦 委員

大平会長・桑原幹事：ニコニコ交通安全活動にご協力下さいました会員の皆様に感謝してニコニコいたします。
照木会員：会長、幹事からワイフへの誕生祝いカードありがとうございました。結婚以来初めての心暖まるお祝いをいただき感動していました。私からもワイフに代わりお礼申し上げます。



会長の時間

大平 会長

①先週の17日は当クラブ創立45周年の記念行事が行われました。ご承知のように、当初、相当規模の行事を計画して準備をいたしましたが、厳しい社会情勢に鑑み、小規模且つ簡素なものに変更されました。しかし、会員の皆様のご協力により、有意義な式典と楽しい祝宴を行うことができました。亀田実行委員長はじめ実行委員の皆さん、そして全会員の皆さん、有難うございました。
②交通安全週間にちなんだニコニコ交通安全活動が行われ、無事終了いたしました。渡辺社会奉仕委員長、照木福委員長はじめ



ご参加下さいました会員の皆様に御礼申し上げます。

③ここ2、3日暑さ、寒さが日替わりでやってきております。会員の皆様におかれましては、体調管理に充分気をつけていただきたいと思います。

幹事報告

桑原幹事

創立45周年記念式典に於きましては、いろいろ有難うございました。当日はハプニング、不手際もありましたが、和気あいあいとした雰囲気で行われました。亀田委員長を含め委員の皆様にご挨拶申し上げます。



報告事項 ①5月26日(火)会員選考・職業分類委員会を開催、Tさんと云う方の選考をします。その後公示させていただきます。6月7日の理事会を経て、6月28日最終例会に入会式を行う予定です。

②5月31日(火)の例会から4回にわたり、各委員会の事業報告を行います。各委員会の報告予定は別紙のとおりです。

③6月28日(火)18時から、大平年度最終例会をパレスホテル立川にて開催します。

④5月11日～20日の交通安全運動期間での各小学校通学路での見守り活動(ニコニコネット)への参加有難うございました。我がクラブとしては延18人の方が参加しました。武蔵国分寺RCを含め延107人、参加しました。

委員会報告

出席委員会

清水出席委員長

会員数 42名 免除 5名

メーキャップ済み 1名 欠席 2名

出席率 94.59%

<前々回の修正>

メーキャップ 1名 欠席 3名

出席率 88.89% → 91.67%



次年度幹事

高橋正典次年度幹事

「国際ロータリー第2750地区2011年-12度

地区委員会セミナー予定」

①次年度理事の方、5月18日(水)

2011年度第1回地区協議会への出席ありがとうございました。

②6月7日(火)14:00より渋谷JICA地球ひろばにて2011年-12年度「第1回地区ロータリー財団セミナー」開催。



木口次年度財団プログラム委員長、濱仲会長エレクト出席予定。また、2010年度地区補助金とマッチング・グラントの事例紹介で、武蔵国分寺RCとの合同プロジェクト「ニコニコパトロールベスト寄贈」を照木社会奉仕副委員長が発表のため、出席予定。

③6月13日(月)14:00よりグランドプリンスホテル高輪にて『2011-2012年度地区会員増強セミナー』開催。津野田次期会員組織リーダー、田中退会防止・会員増強委員長、高橋副幹事が出席予定。

④次年度委員会事業計画をご提出していない委員長は、期限が過ぎてますので、早めに提出のこと。

全員協議会

○長期計画策定特別委員会の報告会

○司会：桑原幹事



○長期計画の背景について

長期計画策定特別委員会 北田委員長

長期計画については前回やりましたが、また基本に戻りまして説明させて頂きます。まず、長期計画については、今年から5名、北田委員長(全体担当)、倉島副委員長、丸岡委員(RI財団財務担当)、関口副委員長、長尾



委員(社会奉仕担当)この5名で構成、4回の委員会を行い、概略の話をもとめました。ロータリーは単年度制が原則であり、毎年、新会長、新執行部が誕生します。継続性、一貫性を柱とした長期計画はともすれば昨年度の繰り返し、マンネリに陥りがちです。今日までクラブをリードして来た人達、現在の指導者、そして将来の指導者が参加し、きちんとした現状分析、具体的な目標達成手段の作成、進行状況を定期的に見て、常に方向修正ができる戦略クラブの構築の立案が必要とされます。近年、だんだんクラブ数が減って来ましたが、日本のロータリアンも減少しているのが現状で、これを反省し、長期計画を作らなければいけないと云うことです。RCがシカゴで誕生し、丁度100年経ちました。RIは何とか変革しなければいけないと云うことで、ロータリー以外の方々から、「ロータリーとはどんなものか」と云うことについてアンケートをとりました。その中では、①ロータリーのことにはよく分らない。②ロータリーの目的はよく理解できない。③会員になる条件が厳しすぎる。④参加するには経費が高い。⑤クラブはもっと柔軟性、多様性を尊重すべき。⑥ロータリーは閉鎖的である。エリート集団である。⑦一体ロータリーの倫理観

とは何か。等の疑問が出て来たようです。これは、その通りではないかと思えます。従いまして、もっと合理化されたプログラムを望み、RIに影響されないリーダーシップの改善や具体的な長期計画を維持する方法を考えなければならないと云う背景にあります。

前回、8班に分れ、ワークシートを配り、現在の自分達の状況はどうなのか議論して頂きました。そして各班から具体的に発表して頂きました。その時皆さんから出た意見をまとめてみると、次のような意見がありました。

- 会員数は50人～60人程度が理想。
- 準会員については賛成と反対の両方の考えがありました。
- 地域の団体と組んでやる社会奉仕活動も考える。
- 退会防止をもう少し考えるべき。
- ニコニコボーリングのような芯になり、継続性のある活動を考える。
- 芋掘り、栗拾いなどやってはどうか。
- ロータリーは国際的にも、地域的にも奉仕活動をしているが、もう少しロータリーの活動や魅力をPRしてすることが大切である。
- 親のない子供達、弱者の支援体制をつくって欲しい。
- 炉辺会合をもう少し多くして意見交換をして欲しい。
- ポリオプラスなどロータリー活動をPRすることが必要である。

○長期計画の方向と模索について 倉島副委員長

昨年の暮れから委員会が始まりました。何回か討議して参りました。私たちのグループは財団活動をテーマに検討しております。ロータリー財団はかなり重要な活動していますが、ロー



タリアン自身にあまり認識されていない。何をやっているかどうかということをもう一度認識して、それをひとつのテコに地域社会あるいは近隣社会にPR出来ないか、自分達の活動を活性化出来ないかということを検討しました。皆さんのテーブルの上に資料を置っていますが、そのように現状分析しますと、会員が減少して来ている。資金が減って来ている。奉仕活動のスタイルがマンネリ化し、寄付金を拠出して終るもの以外の奉仕活動を創造しなければいけない、等々。その結果を踏まえ、作りあげたものがこの資料です。

方向性として、財団及びRIの活動の認識と誇りをクラブ再生の活力にしたい。しきたりにとらわれないユニークな思考と方法によりロータリー活動を再活性化すべきでないか。例えば、財団の活動と言いますと、ポリオプラス、米山奨学制度、国際親善

奨学制度、世界平和フェロー、新世代プログラム等いろんな活動が行われている。これらを軸にして、何をするかと云うことですが、各地域でイベントを行い、プロモーションをやり、奉仕事業を組織して行く、その結果、会員自身がロータリー財団活動を認識して、その結果をまた奉仕事業として地域社会にPRして行くということを提案します。例えば、交換留学生、米山奨学生、国際親善奨学生、世界平和フェローの学生、OB/OG等を手分けして何とかプロジェクトに参加して頂けないものか、ということを考えています。

それからまた逆に、ロータリーの奨学制度があるという情報をその地域に提供して、その地域から青少年の方が応募されるようなきっかけをつくりたい。これは地区の奨学委員会に出席して感じたことですが、ほとんど皆さんに知られていない。たまたま大学等でポスターを見た人が応募して来る程度です。

もっと近隣社会にPRして社会の中から留学生に応募して頂く、その人達はロータリーに助けて頂いたという思いも残るでしょうし、将来、ロータリーに参加したいという人も必ず出てくるのではないかと期待しています。その方法として、この国分寺RCだけ、あるいは、2～3クラブで共同で活動出来ないものかどうか、共同活動で新しいアイデアを生んで相互に刺激しあう、活性化しあう。例えば、小金井、小金井さくらと共同でやるとすれば、小金井と国分寺が持ち回りでイベントを組む。そこで奉仕事業を通じ、ロータリーを地域に広報する。3～4年に1プロジェクト完了するペースで行う。これによってロータリー活動の誇りを私達自身が再認識して、さらに地域に訴えかけるということを考えます。そうすることは、関口副委員長グループの直接の地域奉仕と共に、いろんな場面で会員の可能性のある人を呼び込んでいくということを考えています。具体例として複数クラブ共同で、プロジェクトテーマと実施方法など討議しながら決めて行くということです。

イベントは奉仕事業例えば奨学生あるいはOB・OGに参加して頂いて、日本語弁論大会を地域で開催したり、その地域の人をそのイベントにお呼びしてロータリーはいいことをやっているということを認識して頂く、ポリオプラスも重要なことです。これは、もう数力国残っていますが発生するところがほとんどなくなって来ている。しかし、一方で100%撲滅するためには、まだまだ金がかかると言われています。これも宣伝して素晴らしい事業を地域に認識して頂く、またそれで募金を多少でもお願いするという活動をやってもよいのではと思います。

それから、各奨学制度の事業、財団活動をパネルに展示して、地域の人に見て頂く、小金井なら小金井、国分寺なら国分寺のロータリアン以外の人に見て頂いてロータリーというのはこういう

ことをやっているのだと知らせる。そういうことによって自分の今後の活動としてロータリーに入会を考える人が出て来ることを期待したい。ということが今までの検討結果です。

○当クラブの現状について 関口副委員長

私の方のグループでは、身近である国分寺RCの社会奉仕活動ということで、皆さんのテーブル上に資料を置いてありますが、策定のプロセスと今まであった中の意見、国分寺RCが創立以来やって来た履歴は、約



60項目に及ぶ社会奉仕活動があります。その中には、汗をかいてやる奉仕活動というものは創立以来かなりあります。最近の奉仕活動を見ておられますと寄付金、ものの寄贈と言う形の方が主たる奉仕活動になって来ているのが現状ではないかと思えます。国分寺RCは何をやらなければならないか。RCは地域社会の中で認知されるようになるためには、お金、物を出すだけではだめだと思えます。PR活動をするに当たっては、やはり、汗をかいて奉仕活動をするということが原点ではないかと思えます。今まで20数年続いたチャリティボーリングという大きな目玉の社会奉仕活動がありました。これも会場の突然の閉鎖ということで、終わりということになりました。こう言う大きな柱、貢献形社会奉仕活動があったので、それと並行して次のことを考えるという大切なことを忘れたために、このようなことが起きたのではないかと思えます。やはり、今回この長期計画策定特別委員会を設けて地区また国分寺RCとしては、いいチャンスが来たのではないかと思えます。細かいことは時間の関係で言いませんがこの資料には、今までの社会奉仕活動の履歴それから現状、これから行く方向ということを書いたつもりでございますので、これを見て頂きまして、今年度はあと2ヶ月で終わってしまいますが、来年の濱仲会長のもと5年計画でありますので、今年度中にはまとまりませんが、皆さん頭の中に入れて置くことが大切だと思えます。来年以降5年前後、それでは遅いか分かりませんが、3年目くらいに出来上がればいいのではないかと思えます。皆さん宜しくお願いします。

○まとめ 北田委員長

今、倉島副委員長と関口副委員長がお話しましたとおり、基本的にまとまっております。次年度の濱仲会長の時に、あと5名追加して10名で長期計画を、また基本的に叩き直して皆さんにお諮りするということになります。先程関口副委員長が言



いましたけれども汗を流して奉仕活動が出来るようなものを皆さんでご議論頂くというのがひとつで、もうひとつは出来るだけメンバーを増やすということでございます。RIの活動に付きましては実際に携わっていませんのでピンと来ません。しかし、我々のお金が財団の事業を通じまして、社会貢献していることに皆さん誇りを持って頂きたいと思えます。ロータリアンと言うのは、ただお金を出しているだけではなくて社会貢献をかなりしているのだということを誇りに思っ頂きたい。その誇りを持って会員の増強をして頂ければ、なおロータリーが良くなるのではないかと思います。

○長期計画に対する意見 谷田会員

先程から聞いていますと、非常にまじめで、奉仕活動というのは、そういうことなのですが、ロータリーの原点と言うのは、1905年シカゴでポール・ハリスがひとりでは寂しい、だから友達



をつくりたいと言うことで4人の友達の会をつくったけど、会って楽しく食事するだけではなく、社会のために何かやろうと云うことで奉仕活動が始まりました。そう言う原点から会員同士の親睦を深め、ロータリーライフを楽しむことも大切であります。スイスでも香港でもアメリカのロータリアンたちはみんな楽しんでます。奉仕！奉仕！だけではなく、楽しむことも考えて、長期計画をつくることも大切だと思えます。

○意見に対する答えと締め 北田委員長

今、谷田会員が言われたように、ゴルフクラブだけでなく、囲碁クラブとか、麻雀クラブとか何かつくって頂きたいと長期計画の最初の時にお話したのは、谷田会員が言われたことに通じますので、ロータリーを面白くするためには、やはり友達をつくることだと思います。友達と飲んだり、何かやることでロータリーが一層楽しいものになるのではないかと思います。今の話は非常に大事なことなので皆さん是非実行して頂ければと思います。

国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会長 大平 恵吾 幹事 桑原 哲也
会報委員長 小向 将介 副委員長 中島 米治郎

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8階
Tel.042-322-6480

編集・印刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://kokubunjirc.exceed-net.co.jp>